

事業所名		放課後等デイサービスみのり貝塚校					支援プログラム		作成日		2025	年	1	月	14	日
法人（事業所）理念		一人一人の特徴に合わせた学びを提供し、子どもとその家族の人生が「みのり」あるものにしていきたい														
支援方針		みのりでの支援を通じて、豊富な知識や経験を得られるよう環境を整える。 特に人との関わりにおいて、葛藤を調整する力や、主張する力、折り合いをつける力が育つことを支援する 学習療育において、学びから論理力・思考力を身に付け物事を少しずつ考えられるように支援する														
営業時間		平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり なし				
		土祝・学休日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで						
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	・家庭内生活リズムの安定：学習療育を通じて、家庭内での休暇と学習のバランスを取れるようにする ・定期的な心身の把握：日々の手洗いや検温などを通じて、健康の大切さを理解する。また自身の体調が悪いときを自分で把握できるよう支援する														
	運動・感覚	・創作活動を通じた感覚トレーニング：レゴブロックやビーズづくりなどを通じて、細かな感覚を養う ・室内でのストレッチや軽い筋トレ：図書館などで借りてきた運動の本などを参考にし、室内で出来るストレッチや筋トレを職員と共に行い、楽しく体を動かす ・室外での運動：施設の隣に公園があるので、気軽に外で運動することができます。短い時間でも活動ができるのでいい気分転換になります。														
	認知・行動	・知識による物事の具体化：学習療育によって知識の獲得を行うことで、物事の見え方をより具体的にする。そのことで見えた新しい考え方をもとに必要な行動を考え支援する ・スケジュール把握：自身の学習スケジュールを理解し、余暇時間と学習時間を把握できるよう支援する。高学年になると提出物などを負担なく実施できるスケジュールを考え支援する。														
	言語 コミュニケーション	・読み書き能力の向上：学習療育において、児童の特性を考えた文章の読み取り方を考え支援する。また自分の考えや感情を書き出せるように短い文からトレーニングする。 ・自分の気持ちの言語化：自分がどう感じているか、どんなふうに思ったかなどを口に出せるように指導員とともに一緒に支援する														
	人間関係 社会性	・相手の気持ちを理解する：自分の気持ちを一方的に伝えるだけではなく、伝え方によって相手はどう感じるかを説明しながら適切な言葉選びを支援する ・ルールを守った遊び：勝ち負けに左右されず、みんなが決められたルールの中で協調性をもって遊べるよう支援する														
家族支援		普段の療育から共有すべき内容が出たときに、電話や面談を通じて家族と話し合いを行い、支援内容の方向性をすり合わせる								移行支援		新しい学年や、ステージに変わる際必要な考え方や行動などを共に考え、支援計画の中に組み込み実施				
地域支援・地域連携		社会福祉協議会と連携を取り、貝塚市に必要な仕組みづくりの一助に努めている。地域の小中学校、相談支援事業所と連携し、利用者にとってよりよい支援内容を作成・決定している								職員の質の向上		定期的な研修や訓練の実施(虐待・身体拘束、感染症など) 朝礼などによる利用者の情報交換 学習療育に向けた研修会				
主な行事等		季節に即したイベント(ハロウィン・クリスマス)・外出イベント・クッキング・読書感想文作成会など														